令和4年度 病院長報告会 九州大学病院の現状とこれから

九州大学病院長 中村雅史

- 1. 理念及び基本方針
- 2. 中期目標・中期計画
- 3. 令和4年度経営計画
- 4. 令和4年度経営状況
- 5. 新型コロナウイルス感染症への対応
- 6. 別府病院再開発
- 7. 医師の働き方改革への取り組み状況
- 8. 外科の再編(乳腺外科)
- 9. 臨床研修
- 10. 九州大学病院の描く健康医療DX



【理念】

患者さんに満足され、医療人も満足し、 医療の発展に貢献する病院を目指します。

【基本方針】

- 1 高度医療の提供と研究開発の推進
- 2 より高い医療安全の追求
- 3 地域医療への貢献
- 4 情報技術を基盤にした国際化の推進
- 5 全人的医療を実践する医療人の養成

- 1. 理念及び基本方針
- 2. 中期目標・中期計画
- 3. 令和4年度経営計画
- 4. 令和4年度経営状況
- 5. 新型コロナウイルス感染症への対応
- 6. 別府病院再開発
- 7. 医師の働き方改革への取り組み状況
- 8. 外科の再編(乳腺外科)
- 9. 臨床研修
- 10. 九州大学病院の描く健康医療DX

第4期中期目標期間における大学機能強化のための 自己点検・評価に関する実施要領(概要)

赤字:実施要領に記載している内容

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度
	第4期中期目標・中期計画						W C the the life
	R4年度プラン	R5年度プラン	R6年度プラン	R7年度プラン	R8年度プラン	R9年度プラン	第5期中期目標· 中期計画
九	-:	各実施主体に	こよる中期計	画・年度プラ	ランに係る自己点検・	評価の実施	【毎年度3月31日時点】
 州							X
" 大		執行部への 報告書	執行部への 報告書	執行部への 報告書	執行部への報告書	執行部への	執行部への報告書
$^{\sim}$		報点書	報点音	報口書	文科省等へ提出する報告書	報告書	文科省等へ提出する報告書
学			〇中期計画・年度プランに係る自己評定 (※1)と進捗状況	〇中期計画・年度プランに係る自己評定 (※1)と進捗状況	業務実績報告書 (業務運営等)	〇中期計画・年度プランに係る自己評定 (※1)と進捗状況	業務実績報告書 (業務運営等)
		〇修正後の年度プランと成果(目標値)	〇修正後の年度プランと成果(目標値)	〇修正後の年度プランと成果(目標値)	達成状況報告書	〇修正後の年度プランと成果(目標値)	達成状況報告書 (教育·研究等)
		〇根拠資料等(※2)	〇根拠資料等(※2)	〇根拠資料等(※2)	必要に応じて、修正後の年度プランと成果(目標値)を執行部へ提出	〇根拠資料等(※2)	
		Wa attach					
国立大学法人評価委員会	※1 4段階評定Ⅳ. 計画(プラン)を上回って実施しているⅢ. 計画(プラン)を十分に実施しているⅡ. 計画(プラン)を十分には実施していないⅠ. 計画(プラン)を実施していない			第4期(R4~R9) 中期目標期間【暫定評価】		第4期(R4~R9) 中期目標期間【最終評価】	
平面委員会		会へ提出する第	なび6年目終了時に国 業務実績報告書等を作	立大学法人評価委員 f成する際の根拠資料 認する際の参考資料		ノ に基づき運営費交付金の配	配分額に反映

九州大学病院の中期目標・中期計画

中期目標	中期計画	担当委員会
世界の研究動向も踏まえ、 最新の知見を生かし、 質の高い医療を安全かつ 安定的に提供することに より、持続可能な地域医 療体制の構築に寄与する とともに、医療分野を先 導し、中核となって活躍 できる医療人を養成する。	臨床研究に係る支援体制を充実させ、 高度先進医療及び先端的医療技術の開発に取り組む。 医療分野を先導し、中核となって活躍できる医療人を養成するため、教育システムの改善及び充実を図り、並びに多職種連携によるチーム医療及び国際医療連携による国際貢献を推進する。	メディカル・インフォメーション・センター運営委員会 ARO次世代医療センター運営委員会 油症ダイオキシン研究診療センター 運営委員会 全人的医療人育成委員会 国際医療部運営委員会 海外交流センター運営委員会 アジア遠隔医療開発センター運営委員会
	医療提供体制の整備、医療安全管理の 強化、地域における医療連携を推進し、 質の高い安全で安心な医療の提供を行 う。	医療安全管理委員会 院内感染対策運営委員会 入退院・周術期センター運営委員会 周術期口腔ケアセンター運営委員会 医療連携センター運営委員会

- 1. 理念及び基本方針
- 2. 中期目標・中期計画
- 3. 令和4年度経営計画
- 4. 令和4年度経営状況
- 5. 新型コロナウイルス感染症への対応
- 6. 別府病院再開発
- 7. 医師の働き方改革への取り組み状況
- 8. 外科の再編(乳腺外科)
- 9. 臨床研修
- 10. 九州大学病院の描く健康医療DX

病院の経営計画【R4】



診療領域の特徴拡大

大学病院の使命と差別化

医療連携機能の充実

- ■各領域での価値・存在意義を高める
- ■最後の砦としての地域医療をサポート



関連医療機関との連携強化

- ■新来患者・新入院患者の増加
- ■完結型から分化型を重視した診療体制を構築



働き方改革への推進

職員のモチベーション維持・増加

- ■病院職員の勤務環境を整備し、超勤を減少することの改善取り組みを検討
- ■医師の派遣を含めた医療体制モデルを構築



病床の再編

地域医療構想を見据えた病床対応

- ■各診療領域での需要と共有体制を意識した適正な病床配置を検討
- ■診療科の枠組みを超えた病床管理を検討



疾患別センター化の整理と充実

- ■目的の整理、医療資源の効率的な活用
- ■院外・院内からみた患者サービスの向上

患者にわかりやすい医療提供



DXによる病院機能の充実

- ■診療サポート機能の強化
- ■患者のみならず、社会に情報を発信し、先進的な役割を担う

情報イノベーションの対応

- 1. 理念及び基本方針
- 2. 中期目標・中期計画
- 3. 令和4年度経営計画
- 4. 令和4年度経営状況
- 5. 新型コロナウイルス感染症への対応
- 6. 別府病院再開発
- 7. 医師の働き方改革への取り組み状況
- 8. 外科の再編(乳腺外科)
- 9. 臨床研修
- 10. 九州大学病院の描く健康医療DX

- 1. 理念及び基本方針
- 2. 中期目標・中期計画
- 3. 令和4年度経営計画
- 4. 令和4年度経営状況
- 5. 新型コロナウイルス感染症への対応
- 6. 別府病院再開発
- 7. 医師の働き方改革への取り組み状況
- 8. 外科の再編(乳腺外科)
- 9. 臨床研修
- 10. 九州大学病院の描く健康医療DX

■医療機関・宿泊療養施設における診療協力

- ◆宿泊療養施設への派遣
 - ・福岡県医師会からの依頼に基づき、JMAT (日本医師会災害医療チーム)として、 医師及び看護管理者を県内宿泊療養施設へ派遣
- ◆ 大阪府 (大阪コロナ重症センター) への看護師の派遣
 - ・文部科学省からの依頼に基づき、集中治療部経験看護師5名を派遣
- ◆ (独)国立病院機構福岡病院への医師の派遣
 - ・福岡県からの依頼に基づき、酸素投与ステーションにおける患者の健康観察、 酸素投与のため医師(呼吸器科)を派遣
- ◆ 宿泊療養施設勤務者への感染対策指導に係る看護師の派遣
 - ・福岡県からの依頼に基づき、宿泊療養施設の医療従事者への感染対策指導及び、 清掃業者への感染対策指導のため感染管理認定看護師を派遣

■ワクチン接種の普及に貢献

- ◆ 大規模接種会場への医師・歯科医師の派遣(派遣人数:延べ約1,200人)
 - ・中央ふ頭クルーズセンター
 - ・なみきスクエア
 - ·KITTE博多

■地域の診療体制の維持に貢献

- ◆県・市の関連会議に出席
 - 感染症専門医
 - · 救命救急医

■福岡市立学校における感染対策強化へのサポート

- ◆ グローバル感染症センターによる取り組み
 - ・学校において必要な日常の感染予防対策についての助言・指導
 - ・学校で感染症が発生した場合の休校や学校再開に向けた感染予防対策 についての助言・指導

- 1. 理念及び基本方針
- 2. 中期目標・中期計画
- 3. 令和4年度経営計画
- 4. 令和4年度経営状況
- 5. 新型コロナウイルス感染症への対応
- 6. 別府病院再開発
- 7. 医師の働き方改革への取り組み状況
- 8. 外科の再編(乳腺外科)
- 9. 臨床研修
- 10. 九州大学病院の描く健康医療DX

診療に従事する医師は、時間外・休日労働時間の上限時間について、 以下のいずれかの水準が適用されます。

複数の医療機関で勤務する場合は、労働時間を通算して計算する必要があります。

水準	長時間労働が必要な理由	年の上限時間	
A水準	(臨時的に長時間労働が必要な場合の原則的な水準)	960時間	
連携B水準	地域医療の確保のため、派遣先の労働時間を通算する と長時間労働となるため	1,860時間 (各院では960時間)	
B水準	地域医療の確保のため	1,860時間	
C-1水準	臨床研修・専攻医の研修のため	1,860時間	
C-2水準	高度な技能の修得のため	1,860時間	

※月100時間未満の上限もあります(面接指導の実施による例外あり)。

九州大学病院においては連携B水準を取得予定のため、 以下の時間を厳守する必要があります。

- ① 九州大学病院における残業は、年間960時間まで。
- ② 外勤先における労働時間は、①と合計して 年間1,860時間まで。

ただし、②の"外勤先における労働時間"には、

- ・外勤先において宿日直許可を取得しており
- ・その時間帯の宿日直業務に従事した時間は、<u>含まれません。</u>

医師の働き方改革について

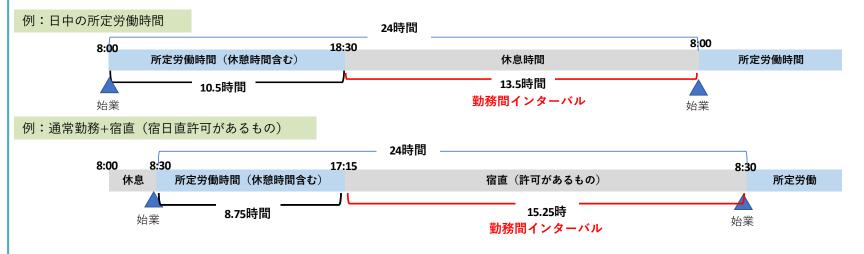
勤務間インターバルの確保について

◆勤務間インターバルとは

1つの勤務を終えてから次の勤務までの間に、一定の休息時間(自己研鑽・生活・睡眠等の<u>労働に従事しない時間</u>)を確保するための時間。 原則として以下の2種類の方法で、事前に勤務予定として定めておく必要がある。

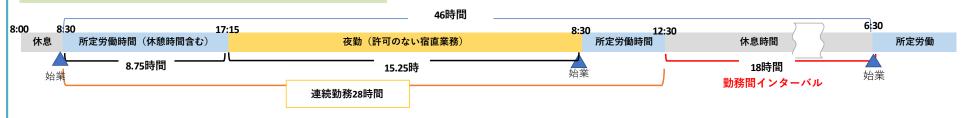
本院における勤務間インターバルの取り扱い(案)

① 24時間の中で、所定労働時間から次の所定労働時間までの間に9時間以上の連続したインターバルを設けること



② 46時間の中で、夜勤業務等(15時間以上の連続勤務)に従事した後、次の勤務までに18時間以上の連続したインターバルを設けること

例:通常勤務+外勤先での宿直(宿日直許可がないもの)



Dr.JOYの勤務予定について

変更前



残業 3時間

変更後

実際には13:00~25:00の勤務(8:00~13:00は年休)を行った日に、勤務予定

を8:00~17:00のままにしておくと残業時間は8時間となるが、勤務予定を13:00~

22:00へと変更すると、残業時間は3時間となる。(年休取得も不要となる。)

また、兼業時間を設定している時間帯と勤務予定が重複しているケースも見られるため、兼業日とは別の日の勤務予定時間へ移行すれば、その日の残業時間が縮減できる。

- 1. 理念及び基本方針
- 2.中期目標・中期計画
- 3. 令和4年度経営計画
- 4. 令和4年度経営状況
- 5. 新型コロナウイルス感染症への対応
- 6. 別府病院再開発
- 7. 医師の働き方改革への取り組み状況
- 8. 外科の再編(乳腺外科)
- 9. 臨床研修
- 10. 九州大学病院の描く健康医療DX

【今までの実施内容】

令和2年3月に病院建物内の表示、関連医療機関への配布物、ホームページにおいて、統合した外科の診療科表記を行う。

【今回の実施内容】

診療面での領域ごとの統合を進める

·乳腺外科:令和4年10月1日

·呼吸器外科:令和5年4月1日(予定)

【最終目的】

- 1. 患者にわかりやすい医療提供(家族・院内・関連医療機関含む)
- 2. 安全な診療体制
- 3. 学生・研修医に魅力ある教育体制
- 4. 研究拡大(データの統合、治験参加症例数の増加)
- 5. 働き方改革・女性が働きやすい職場づくり

診療体制

■責任者: 久保准教授

■診 療:治療方針、運用を協議し、科長の方針(責任)とする

・統合カンファレンスの実施

・手術手技の教育、共有

・外来診療、入院診療の運用を共有、統合

■運用開始:令和4年10月1日

外来診療

久保准教授

専門分野など	月	火	水	木	金
	〇伊地知秀樹	〇久保 真	伊地知秀樹	〇久保 真	伊地知秀樹
乳腺外科	〇茂地智子	〇甲斐昌也	茂地智子	〇甲斐昌也	茂地智子
子しの水グトイン		〇森崎隆史		〇森崎隆史	〇久保 真
					〇甲斐昌也

備考

急患はこの限りではありません。 外来まで連絡いただけましたら対応します。 〇は午前のみになります。

再診

初診

専門分野など	月	火	水	木	金
乳腺外科	〇伊地知秀樹 〇茂地智子	久保 真 甲斐昌也 森崎隆史	伊地知秀樹 茂地智子	久保 真 甲斐昌也 森崎隆史	伊地知秀樹 茂地智子 〇久保 真 〇甲斐昌也

備考

○は午前のみ、●は午後のみになります。

地域医療の貢献に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

- 1. 理念及び基本方針
- 2. 中期目標・中期計画
- 3. 令和4年度経営計画
- 4. 令和4年度経営状況
- 5. 新型コロナウイルス感染症への対応
- 6. 別府病院再開発
- 7. 医師の働き方改革への取り組み状況
- 8. 外科の再編(乳腺外科)
- 9. 臨床研修
- 10. 九州大学病院の描く健康医療DX

初期・後期臨床研修プログラム説明会

2022年6月5日 百年講堂で、3年ぶりに対面の説明会を行いました多くの連携施設病院にも参加いただき、盛況に終わりました











当日の全体説明内容や実際に研修している研修医へのインタビューを動画作成し、臨床教育研修センターホームページで公開しています。

説明会に参加できなかった医学 生がいつでも視聴できるようにし ました。

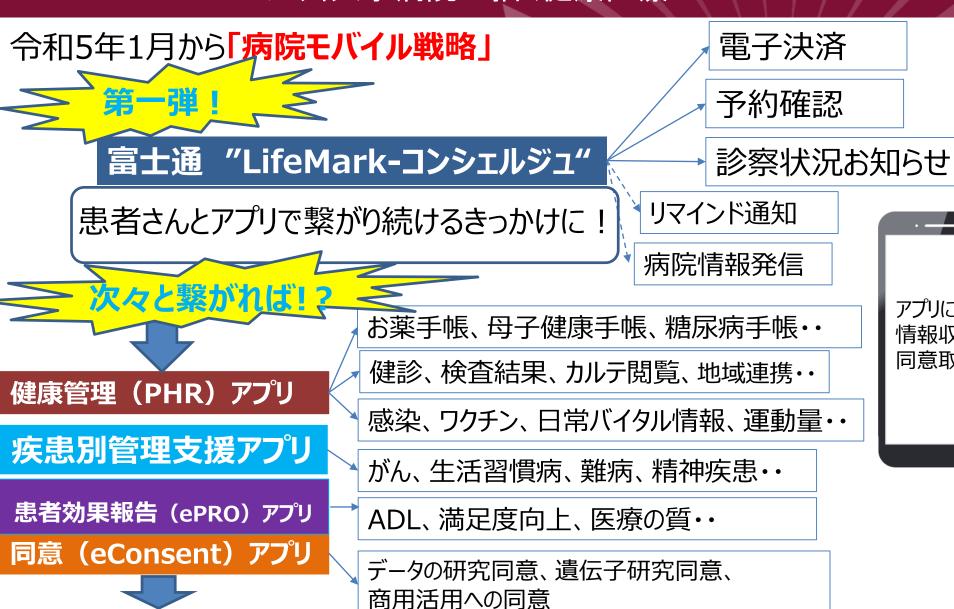
- 1. 理念及び基本方針
- 2. 中期目標・中期計画
- 3. 令和4年度経営計画
- 4. 令和4年度経営状況
- 5. 新型コロナウイルス感染症への対応
- 6. 別府病院再開発
- 7. 医師の働き方改革への取り組み状況
- 8. 外科の再編(乳腺外科)
- 9. 臨床研修
- 10. 九州大学病院の描く健康医療DX

アプリによる

情報収集と 同意取得



ビッグデータ解析



社会への還元・個人への還元

九州大学病院の描く健康医療DX

進んできた**がんゲノム医療(精密医療)**のみならず

臨床情報 (Phenome)、遺伝情報 (Genome)、環境情報 (Exposome)を融合させた **超精密医療** へ

●日本最大級の大学病院の電子カルテ情報、 レセプト情報、医用画像、ヒヤリハット情報、など



Phenome(病態情報)



アプリによる 情報収集と 同意取得

- 最高峰のオミクス研究
- がんゲノム医療中核拠点 病院事業の知識蓄積
- 久山町研究の人材・手法

- 工学系・情報系のセンサー 情報とのコラボ
- 国際的な遠隔診療やセン サーネットワーク研究のハブ
- 活発な企業との協働

ELSI(Ethics倫理、Legal法律、Social(社会実装)、Issues(課題))研究を基盤化

新しい年を迎えましたが、病院経営は引き続き 厳しい局面を迎えていきます。

皆様と協力して、この逆境を乗り越えていきたいと 思います。

今後ともよろしくお願いいたします。